

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	令和3年度決算額	令和2年度決算額	増減率 (%)	解説
(1) 歳入総額	1,666億389万円	1,921億5,319万円	△ 13.3	前年度に比べ法人市民税や事業所税は増額となったものの、固定資産税が大きく減額となるなど、市税全体では約1.0億円の減額となりました。 そのほか、地方交付税が約32億円の増額となる一方で、国庫支出金の約273億円の減額などが影響し、歳入総額は約255億円の減額となりました。
(2) 歳出総額	1,616億4,182万円	1,879億8,524万円	△ 14.0	特別定額給付金事業や特別融資預託金などにより商工費が約400億円の減額となりました。一方で、子育て世帯臨時特別給付金事業などにより民生費が約74億円の増額、財政管理事業などにより総務費が約58億円の増額となりましたが、歳出総額は約263億円の減額となりました。
(3) 歳入歳出差引額	49億6,207万円	41億6,795万円	19.1	「(1)歳入」から「(2)歳出」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
(4) 実質収支	41億95万円	34億987万円	20.3	実質収支は、「(3)歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、このうち26億円を財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの15億95万円を翌年度（令和4年度）への繰越金としました。
(5) 単年度収支	6億9,108万円	13億1,607万円	△ 47.5	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
(6) 実質単年度収支	20億561万円	△12億6,656万円	258.4	実質単年度収支は、「(5)単年度収支」に財政調整基金への積立金（決算余剰積立以外）と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。